

まちを守る

消防団

袋井市の消防体制は、袋井消防本部、袋井消防署、袋井消防署浅羽分署そして、袋井市消防団で構成されています。

袋井市消防団は、袋井方面隊10個分団、浅羽方面隊6個分団で組織され、現在、団員594人が所属しています。消防団員は、非常勤特別職の地方公務員として、それぞれが仕事を持つかわらで、早朝、日中、夜間を問わず火災の消火や風水害による被害を防ぐために活動を展開しています。

④防災課防災係 消防団担当（袋井消防本部警防課内） ☎44-6092



特集

私たちのまちを守る消防団



「消防団の大切さ」

袋井市消防団 団長
山田^{たかし}享史さん(西区)

市民の皆さんには、日ごろの消防団活動に対し、深いご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、今年に入ってから能登半島地震や新潟県中越沖地震などの発生、大規模な台風の上陸や集中豪雨による風水害など、住民の安心・安全を脅かす大きな被害が生じたことなど今でもその傷跡を残している状況であることも記憶に新しいと思います。

また、火災やいつ起きてもおかしくないと言われております東海地震などのあらゆる災害から私たち消防団は、住民の生命・身体・財産を守ることを消防使命とし、日々訓練に励んでおります。

消防活動は、極めて危険性の高い災害現場において、迅速性、確実性が要求され、かつ常に過酷な行動が強いられます。

その中で住民の皆さんに頼りにされる消防団組織となるよう努力し、進めていきたいと考えます。

消防団員の確保は、年々難しくなっていますが、現在の組織を維持運営していく上では、地域の皆さんのご協力が必要になります。

今後もより多くの人々に消防団の大切さを理解していただくように、また、消防団の組織力が必要であることを伝えていけるように全力を尽くしたいと思います。

私たちの

